

## 公益財団法人日本バレーボール協会 2013 年度第 5 回理事会(臨時) 概要

1 日 時：2013 年 7 月 2 日(火) 14：00～15：45

2 会 場：公益財団法人日本バレーボール協会 事務局内会議室(東京・渋谷区)

3 出席者：

理事総数 15 名

出席理事 12 名

代表理事

羽牟裕一郎

理事

岩満一臣、大塚慶二郎、岡野貞彦、小野元之、川合正矩、小島和行、  
下山隆志、江草佳江(旧姓：竹下)、西脇克治、福本ともみ、山口香

監事総数 3 名

出席監事 2 名

高橋治憲、大西浩志

4 議 長：代表理事 羽牟裕一郎

5 決議事項

- (1) 委員会の設置および委員長、委員の選任について
- (2) 理事会運営規程一部変更の件について
- (3) 2013 年度第 2 回加盟団体代表委員総会の中止について

6 議事の経過の要領及びその結果

定刻、代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

続いて新理事の紹介が行われ、その後、議事録記名押印理事に西脇理事を選出。次の議案の審議に入った。

(1) 委員会の設置および委員長、委員の選任について

各業務執行理事より、委員会の設置および委員長、委員の選任について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

国内事業本部

全国9ブロック理事長会、全国連盟代表者会、国内競技委員会、指導普及委員会、審判規則委員会、競技人口拡大委員会(JVA・ゴールドプラン)を設置。

下山本部長より、国内事業本部副本部長に大塚慶二郎氏が就任し、「天皇杯・皇后杯全日本選手権大会実行委員会」「クラブ育成プロジェクト」「MRSプロジェクト」「ビーチバレー

ボール競技普及・発展プロジェクト」「9人制復活プロジェクト」を常設しないプロジェクトとして設置した旨が説明された。

### **国際事業本部**

従来の国際事業委員会と国際事業企画・調整員会を1つにし、国際イベント委員会を設置。

### **マーケティング&マーチャンダイジング事業本部**

委員会の設置なし。

### **ビーチバレーボール**

ビーチバレーボール評議会を設置。他事業本部に対して横断的かつ迅速に業務を進めるため、このような組織形態とする。

### **業務推進事業本部**

広報委員会、環境委員会、表彰委員会、倫理委員会を設置し、特別委員会として公認・推薦認定委員会、アンチ・ドーピング委員会を設置する。

### **強化事業本部**

男子強化委員会、A. C. E. JAPAN Project (男子)、女子強化委員会、A. C. E. JAPAN Project (女子)、発掘育成委員会、科学研究委員会、メディカル委員会を設置。

議長より、本部長代理に荒木田裕子氏、副本部長に小田勝美、川合俊一氏が就任することが説明された。

### **(2) 理事会運営規程一部変更の件について**

議長より、理事会運営規程の一部変更について以下の説明がなされ賛否を諮りこれを承認可決した。

本会の運営を円滑に行うため、理事会運営規程の一部を変更し、会長の指名により理事会の承認を得て運営委員 10 名以内を設置したい。運営委員は理事会に出席し、意見を述べ質疑に応じる事が出来る。ただし、議決権は有さない。運営委員の候補者としては、現在のところ、弁護士、会計士等の専門家や、強化事業に直接携わる方、本会加盟団体での実務経験が豊富な方、経営戦略企画会議メンバー、Vリーグ関係者等を想定している。

### **(3) 2013 年度第 2 回加盟団体代表委員総会の中止について**

下山国内事業本部長より、2013 年度第 2 回加盟団体代表委員総会の中止について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

加盟団体規程で、毎年 2 回、加盟団体代表委員総会(以下、「総会」とする)を開催すること

が定められている。今年度は既に第1回目の総会を都内で開催したが、第2回目については各委員会等のメンバーも変更となり、総会を開催する時間的余裕が無いため、中止としたい。なお、今後は、第1回目は従来通りに総会を開催し、もう1回については業務執行理事が説明に回るという案がある。

## 7 報告事項

### (1) 功労者Ⅱ表彰について

岩満業務執行理事から、第4期(2013年度)第3回功労者Ⅱ表彰として下記の方の表彰を行うことが決定したとの報告があった。

○第4期(2013年度)第3回功労者Ⅱ表彰者

逸見臣也 (北海道バレーボール協会元理事)

### (2) 今後の理事会の日程 (予定) について

議長より今後の定例理事会の日程が案内された。日程は以下の通り。

10月22日(火)、1月21日(火)、3月18日(火)、6月5日(木)

以 上